

414  
A 1018



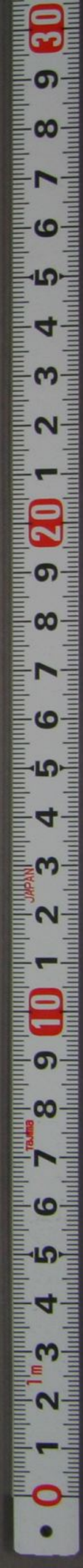
二号

普魯西國年貢債券ノ事

普魯西國ニ於テ千八百四十八年迄ハ年貢償還ノ事ニ就  
 キ政府格別ニ其斡旋ヲナサズ唯各所ニ創設セル私立ノ年  
 貢銀行ヲ保證セシノミナリキ即チパーデルホル子ルア  
 イクスフルトウイツゲシスタインノ各銀行是ナリ干  
 ハ百五十年ニ至リ初テ政府ニ於テ全國一般ニ年貢償還  
 ノ法ヲ設ケ同年三月二日格段シテ方法ヲ以テ年貢銀行ヲ  
 各邦「ライン」邦ノ外ニ設立ス之レ全ク官立ニ非スト雖  
 官吏其事務ヲ執行シ或ハ邦議會之ヲ管理シテ政府之ヲ  
 保証セリ「設立」ノ地ハ「ベルリン」「グアイ」スラウ「ケ」ニ  
 「ベルグ」「マクテブルグ」「ミンスタル」「ホーゼン」スラウ「ケ」ニ  
 ナリ而シテ年貢償還ノ方法ハ左ニ説明スル如ク先ツ負荷  
 ノ義務アルモノヨリ納ムヘキ年貢高ヲ價金ニ換ヘ其金

大正十一年四月  
大隈侯爵郵寄

1905



額ノ二十倍(譬ハ十円ノ年貢ニシテ五分ノ利息ナルハ  
其高ノ二十倍即チ二百円ヲ以テ年貢元金トスルノ割合  
ナリ)ヲ以テ年貢高ハ元金トシ銀行ニ於テ其債券ヲ製シ  
年四分ノ利子ヲ添へ推利ヲ有セルモノニ償還シ農民  
ヨリハ年貢價金高ノ十分ノ九或ハ十分ノ十ヲ年々銀行  
へ還納セシム而シテ十分ノ九ヲ還納スルモノハ五十六  
年ト十分ノ一ヲ此年賦期限ト定ム銀行ニ於テ十分ノ九  
ヲ受取スル片ハ年貢元金ノ債券高百ニ付テ五厘十分ノ  
十ヲ受取ル片ハ百ニ付テ一分ツ、<sup>シ</sup>年々支消スルモ  
ノトス而テ農民ヨリ年々還納スヘキ金額ハ法律上  
ニ於テ諸税同様ニ之ヲ徵收シ得ヘキ權利ヲ各銀行へ與  
ヘタリ但シ此年賦期限中ハ其年貢地ヲ抵當トシ家屋ヲ

以テセシモノハ銀行ノ需要ニ隨ヒ保險證ヲ出シテ之ヲ  
抵當トセリ此年貢債券ノ種類ハ十、二十五、五十、百、千、<sup>タ</sup>一  
<sup>ル</sup>ハ我々<sup>ル</sup>種ニシテ之ニ八年分ノ利息切手ヲ  
付シ年々一月一日ト十月一日ノ兩度ニ切手ノ金額ヲ  
拂ヘリ八年終ル後ハ其債券ヲ出シテ更ニ利息切手ノ添  
付ヲ要スルモノトス而シテ利息切手ノ金額ハ該銀行ヨ  
リ之ヲ交付シ又政府ノ各金庫ニ於テモ正金同様ニ之ヲ  
受取セリ  
此年貢債券ハ五月十一月兩度ニ抽籤法ヲ行ヒ総高ノ幾  
分ツ、<sup>ラ</sup>遡年支消シ次期ノ利息拂ヒ限日ニ當籤ノ債券  
ト現金ヲ交換ス此時ヨリ其利息全ク消滅スルモノナリ  
但シ當籤ノ債券ハ元金支消月ノ四ヶ月前各邦新聞紙及  
ヒ普魯西政府ノ新聞紙ヲ以テ三回之ヲ公告シ又他ノ新

関紙ニモ掲載シテ之ヲ公ニセリ〔債券支消ノ年月ハ前  
 記セシ如ク四十一年ト十二年ノ一成ハ五十六年ト十二  
 分ノ一ニシラ十分ノ九ト十分ノ十ノ日アリ〕而シテ當籤  
 ノ債券ハ十年ヲ以テ期滿得免トシ〔即チ抽籤ニ當リシ  
 息切手ハ四年ヲ以テ期滿得免トス 即チ利息交付年ノ十  
 月ヨリ四年ヲ云フ〕  
 普魯西國古来ヨリ所在ノ各邦ハ千八百五十九年十月ニ  
 至テ年貢償還ノ事務全ク完了セリ但シ各銀行ニ於テ製  
 造セシ債券ノ総高七千八百五十六万八千三百八十一  
 レル〔我五千四百九十九万七千八  
 百六十六万〕ニシテ過半之ヲ支消セリ  
 ホーヘニシラレールニ邦ニ於テハ頃年ニ至リ初テ十  
 分一年貢償還ノ法ヲ設ケテ銀行ヲ設立セリ